

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」和歌山小雑賀校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		人数が増えてきたため、事前の打ち合わせを必ずし、運動する時はスペースを確保できるように気を付けている。
	②	職員の配置数は適切であるか			○	法令で決められた配置数であるが、利用者が増えてきたため、職員の募集は随時行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差はないがドアが少し狭い。玄関のドアが少し重い、児童等の飛び出し防止には良いと思われる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか		○		日々の会議・モニタリングでの話し合いを行っている。人数が増え、朝礼の時間が減っているため、確保するように努める。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集団イベント後に毎回アンケートを取り、活用している。今回のアンケートを基に今後の業務改善につなげる予定である。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今後公開する予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は行っていないが、社内での評価は行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な研修や事例検討を行う等、会社の研修体制が整って来ているため、研修の機会が増えてきている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			初回面談時に行ったアセスメントを元に子どもの現状を的確に捉えて、作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		いくつかのアセスメントツールはあるが、標準化してうまく使用できていないため今後検討する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動内容を全指導員で、共有出来ている。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの状況・様子・必要等に応じて対応しているため、固定化したほうがよいお子さんもいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○	個別で支援しているため、長期休暇時は利用回数の増減・時間変更等にて支援を行っているが、課題は変更していない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		主に個別活動ではあるが、必要に応じて一部集団活動を取り入れている。 年に5回程集団活動の日を取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	支援開始前に打ち合わせをするようにしているが、その日の状態で出来ていない日もあるため、毎日行うようにする。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	支援終了後は時間がないため次の日の朝に気づいた点を共有している。 緊急性がある場合は、その都度共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		隔週で、支援記録の確認を行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。保護者からの要望に応じて随時行うこともある。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		出来る限りのことを行っている。
関係機関や保護者との連携関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どもの状況と保護者の状況が分かる者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	下校時刻等の情報共有は行っていないが、学習や児童の状態等の情報共有は中学校や小学校を訪問し、行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	何か所かの医療機関は訪問し、連携を取る事が出来る体制にはなっているが、該当者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等を訪問しているが、情報共有までは至っていない。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在通所している子どもは、高校1年生までなので今後移行する状況になった時に提供する事が出来る体制になっている。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		訪問し、連携したり、研修に参加したりしている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別の学習のため、難しい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		定例会に出席している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		毎回の振り返りを通して、事業所での様子を共有し、これからの方針を共に考えていている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談を受け、個々の対応はしているが、家族支援プログラムまでには至っていない。今後、考えていかななくてはいけない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時や、毎月の領収書・請求書発行時に行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	振り返りの時間、子どもさんを待っている時間を利用して、出来る限り保護者とコミュニケーションを取るようにしている。わかる範囲で助言と支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今年はママカフェを開催する時間が取れなかったため、定期的に取りれるようにする。イベント内や、待ち時間で保護者同士が情報交換できるような空間作りに努めている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		契約時に苦情についての対応の説明をしている。また、いつでも保護者が話しやすいような対応を心掛け、お会いした時声がけをするように努めている。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			紙面での会報等は発行していないが、カレンダーを毎月発信し、LINE や掲示物・ブログ等を利用して情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			書類の持ち出し禁止を徹底すると共に、鍵付き書庫に個人情報を保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的な情報を利用し、情報を伝達している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別活動が主なため、実施することが難しい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に説明し、事業所内にも掲示している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月行い、ポスター等でお知らせしている。職員のための訓練は毎月行っているが、利用者も含めた訓練を1月に行った。今後も保護者を含めた訓練を出来る限り実施していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回以上の虐待防止の研修を受け、対応についての話し合いを行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、該当児はいないが、重要事項説明書にも掲載し、契約時に説明を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供は行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリとした時は、全員で共有し、対応策を考えると共に報告書を上げている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山小雑賀校 保護者等数（児童数）：36（38）回収数：34 割合：
94 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	2	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	29	4	1	「日数を増やしたいが、職員不足の為出来ない。」「先生方がとても忙しそうなので、先生の数が増えたらいい。」利用者が増えているため、職員の募集は随時行っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	18	0	「ドアが少し重いように感じます。」という意見がありました。入り口のドアは少し重いですが、幼児等の飛び出し防止には良いと思われる。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	34	0	0	
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	29	5	0	
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	20	9	参加したことがないのでわからない。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	4	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	18	4	参加したことがないのでわからない。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	7	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	10	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	31	3	0	先生たちにお任せしているので。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	8	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	14	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	5	1	他のデイには興味がなく、通わなかった子が毎週楽しみにしていて、嬉しく思っている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	33	1	0	「曜日によって、支援開始が遅くなる場合がありますが、終わりは通常通りなので支援はゆっくりしてもらいたいです。」 「前の時間の子の説明が長くなり、支援時間が短くなってしまっていて困ります。」 「どういことが苦手なのか具体的にわかりました。」と言う意見がありました。時間には気を付けているつもりですが、一層の心がけをしていきたいと思います。 「毎回どういことをしたのか、説明していただけるので、少しずつ出来るようになっていくと嬉しくなります。」と言う意見もありました。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。